27

株式会社 小椋工業

http://www.ogura-op.co.jp/company/



新たに導入した放電加工機

高精度金型から設備関連まで、積極的な設備導入と加工技術で成長

平成29年度 補助事業と具体的成果

事業テーマ

ワイヤ放電加工機の導入による高精度金属加工のワンストップ体制の確立



精密マシニングセンタがそろう

事業概要

主力の高精度の細穴加工では、マシニングセンタ（ＭＣ）による加工で段取りや加工時間に非常に時間を要する。高精度で非常に難しい加工の依頼が増え、外注に依頼してどうにか納期に間に合わせる状況であった。外注すると納期管理が困難となり、外注費用の増加による利益率圧迫も生じていた。そこで、ワイヤ放電加工機を導入し、斜めの付加加工や要求精度の極めて高い微細な穴加工を内製し、一貫加工による短納期で生産性の高い自社単独の“ワンストップ”生産体制を確立する。

課題	取組	成果
●外注工賃の削減	●ワイヤ放電加工機の導入	●高精度加工体制の確立
●作業効率・生産性の向上	●社内加工の拡大	●自社加工技術の向上
●短納期対応	●外注日数削減	●受注競争力の強化

業務内容

社内で一貫加工できるワンストップ生産体制を構築

高硬度の金属を精密に切削・研磨加工し、金型製作を手がける。マシニングセンタや数値制御（ＮＣ）ガンドリルマシン、研磨機など数多くの加工設備を備え、社内で一貫加工できるワンストップ生産体制を整えている。ワンストップ体制では、どの加工工程でどのぐらい作業負荷がかかっているか、どの工程に余裕があるかを確認しながら、作業者に複数の機械を操作させたり、余裕のある工程から負荷の高い工程に「応援」させたりすることもできる。加工の全体最適を図り、短納期を可能にしている。家電や車載用の部品、軸受、樹脂成形メーカーの生産設備関連などの仕事が多い。

顧客から厚い信頼、冷却プレートの製造依頼も増加

金型の製造は一時、中国や東南アジアに仕事が流れていたが、国内の景気回復や海外労働者の賃金上昇などから国内に戻る動きがみられ、業績も堅調に推移している。同業の金型メーカーが断ってしまうような、高い寸法精度を要求される金型も製作できる設備と技術力を有するため、顧客の信頼が厚い。多くの仕事が集まり、多忙を極めている。最近では、シリンダーブロック、クランクケース、トランスミッションケースなどの自動車エンジン部品成形用のダイカスト金型や、半導体製造用金型の製造、これらの金型を使う際に発生する熱を除去・冷却する「冷却プレート」の製造依頼も増えている。



金型の外周部を構成する部品（モールドベース）

強みとビジョン

高精度な金型加工で成長し精度に自信、設備も多数

もともと高精度な金型の加工で成長してきたため、精度には自信がある。高精密ブランドのマシニングセンタをはじめ、コンピューター数値制御（ＣＮＣ）の３次元測定機など検査設備も数多くそろえる。加工精度を保つ温度管理体制も整えている。顧客からの注文は一品一様の単品が中心。金型以外に、生産設備の部品にも加工の領域を広げてきた。

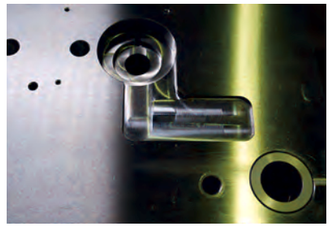
これに、ワイヤ放電加工機が加わったことで、切削ではできない微細な穴の加工も可能になり、標準的にマイクロメートルレベル（マイクロは100万分の１）の高精度な技術力の確立を目指す。微細穴の加工を内製化したことで、これまで外注にかかっていた日数が加工によっては４日間も不要になり、顧客ニーズが強い短納期も可能になる。



３次元測定機で加工精度も確認

電機メーカーから大口受注目指す、内覧会も開催へ

ワンストップ生産体制の確立により、外注費を大幅に削減するとともに、これまで断らざるを得なかった注文も受けられる十分な余力を得た。加えて、取り引きのなかった企業にも営業を行う。新たな顧客の獲得を目指し、すでに、電機メーカー２社に対する営業で大口の受注を目標に掲げる。今後は初めての工場内覧会の開催を予定している。



得意とする切削加工の事例

ものづくりは人間の感性、何よりも人づくりを大切に



金型事業から出発し、高精度加工の技術を磨き、組立自動機・設備治具プレートや部品を手がける設備事業まで、範囲を広げてきました。加工事業も行い、さまざまなニーズに合わせることができます。ものづくりの究極は、人間の感性です。常に自然の感性に心を澄ませようと考えています。だから、何よりも人づくりを大切にしています。



代表取締役社長
小椋 孝雄

- 社　名　株式会社 小椋工業
- 代表者　代表取締役社長　小椋 孝雄
- 住　所　〒561-0842 豊中市今在家町15-7
- ＴＥＬ　06-6866-2855
- ＦＡＸ　06-6866-2854
- 資本金　10,000千円
- 従業員　43名

- 主な取引先　電子部品、デジタル家電、自動車部品、医療機器、事務機、成形メーカー、金型メーカー
- 主な保有設備　マシニングセンタ、ワイヤ放電加工機、ガンドリルマシン、平面研削盤、ＣＡＤ／ＣＡＭ、３次元測定機
- 主力製品　精密金型用モールドベースを主力とする金型、組立自動機・設備治具プレートや部品などの設備、その他加工

短納期　小ロットOK　オンリーワン技術　連携力

REPORTER'S EYE

加工コストが安い中国などに金型の仕事が多く流れているなかでも、小椋工業は海外では生産が難しい高精度・少量の金型・設備関連の仕事に主力事業をシフトし、国内の加工メーカーにしか頼めない需要をしっかりとつかんでいる。高精度なマシニングセンタや検査設備を積極的に導入し、常にチャレンジする姿勢の経営が成長につながっている。ワイヤ放電加工機の導入も、その姿勢の現れ。今後も最新鋭の設備投資を続ける方針だ。